

## 木質バイオマス由来燃料のサプライチェーンにおける当社の役割

日本製紙株式会社（以下「日本製紙」）が公表した「中期経営計画 2030」（以下「本計画」）※<sup>1</sup>において、同社が掲げる新規バイオマス素材事業拡大戦略の一環として、「森空プロジェクト®」が紹介されております。

本計画（P. 33）※<sup>2</sup>では、木質バイオマスを起点としたバイオエタノール及び SAF（持続可能な航空燃料）のサプライチェーン構築の全体像が示されており、2027 年よりバイオエタノールの実証生産を開始し、2030 年頃から数万キロリットル／年の商業生産が計画されています。GEI の技術は、このバイオエタノール製造工程を担う重要な要素技術となっています。

GEI の木質バイオマスからバイオエタノールを生産する技術は、「森空プロジェクト®」において、社会実装に向けた取組みが進められており、純国産 SAF のサプライチェーン構築に貢献するものです。※<sup>3</sup>

GEI は、こうした取組みを通じて、国内資源を活用したエネルギー供給体制の構築と脱炭素化の実現に引き続き貢献するとともに、当社の掲げるテクノロジーパッケージ事業を推進してまいります。

※ 1 日本製紙「中期経営計画 2030」（2026 年 5 月 28 日公表）

<https://www.nipponpapergroup.com/assets/Medium-TermBusinessPlan2030.pdf>

※ 2 日本製紙「中期経営計画 2030」33 ページ

中期経営計画2030


**NIPPON PAPER**

### ③収益性の向上 | 新規バイオマス素材事業の拡大

**バイオエタノール(国産材100%原料)**

- ▶ バイオリファイナリー構想※<sup>1</sup>の実現に向けて「森空プロジェクト®」を推進
- ▶ 木質由来のSAF(持続可能な航空燃料)向けバイオエタノールの社会実装を目指す

**「森空プロジェクト®」が目指す  
純国産ATJ-SAF※<sup>2</sup>のサプライチェーン**

| 原料調達<br>(国産材) | 前処理・バイオ<br>エタノール製造 | 国産SAF<br>製造 | 国産SAF<br>利用 |
|---------------|--------------------|-------------|-------------|
| 森空プロジェクト参画企業  |                    |             |             |
| 日本製紙          | 住友商事               |             |             |
| 住友林業          | GEI※ <sup>3</sup>  | JAL         | エアバス        |

**特長**

- 国産材100%を原料として使用
  - ・ 低GHGのSAF原料を供給
  - ・ エネルギー自給率の向上に寄与

**今後の取組み**

- 岩沼工場内で2027年から実証生産開始※<sup>4</sup>
- 2030年頃から数万KL/年の商業生産を計画
- 出光興産と純国産ATJ-SAFサプライチェーンの構築に向けた共同検討開始※<sup>5</sup>

**<検討内容>**
  - ・ ロジスティクス
  - ・ 純国産ATJ-SAFの情報発信
  - ・ 社会実装に向けた制度・環境整備

※<sup>1</sup> 持続可能な森林資源から得られた木質バイオマスを原料としたバイオ燃料や化学品を生産するしくみ

※<sup>2</sup> ATJ(Alcohol to Jet)-SAF:エタノール等から SAF(持続可能な航空燃料)を製造する技術・プロセス

※<sup>3</sup> Green Earth Institute株式会社

※<sup>4</sup> NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)のバイオものづくり革命推進事業において実施

※<sup>5</sup> 出光興産・森空バイオリファイナリー合同会社間で共同検討の覚書を締結(2026年5月27日お知らせ)

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved. — 33

※3 2026年5月27日 当社ニュースリリース「[GEIのバイオエタノール生産技術の量産プロジェクトである森空プロジェクトにおいて、出光興産と森空バイオリファイナリーが連携](#)」

以上